

博物館等の国際交流の促進

令和4年度予算額
(前年度予算額)

52百万円
52百万円)

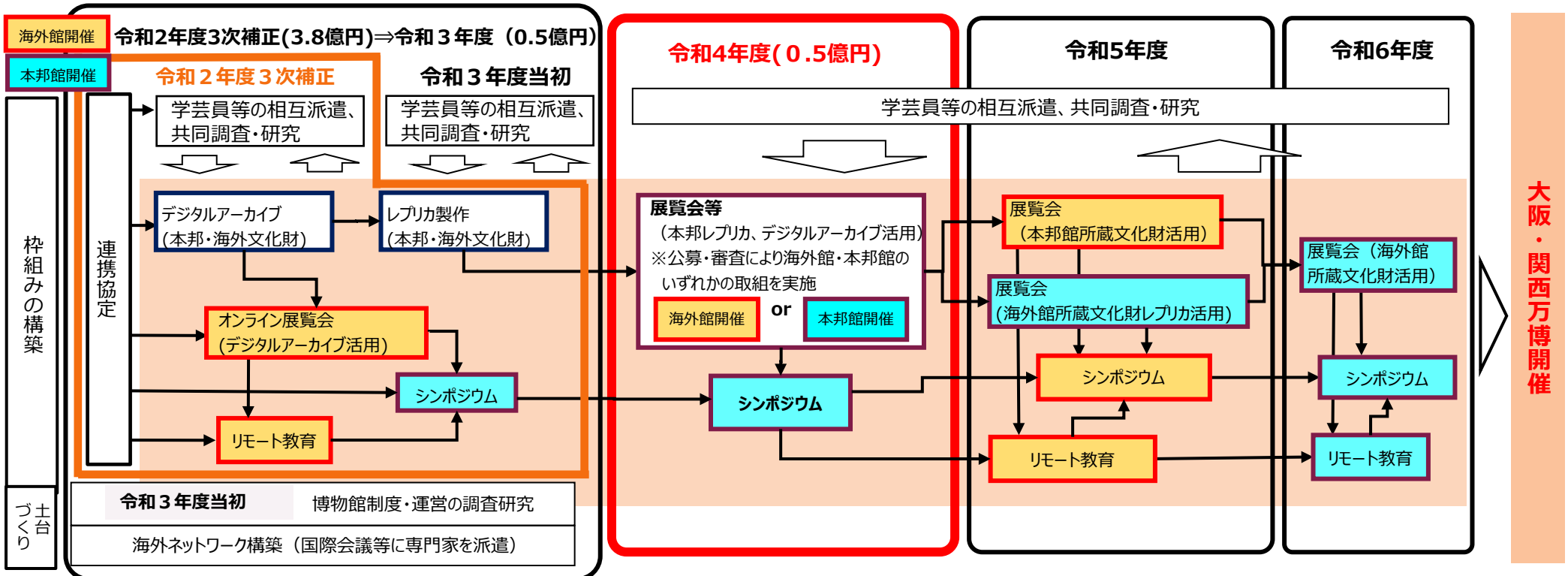
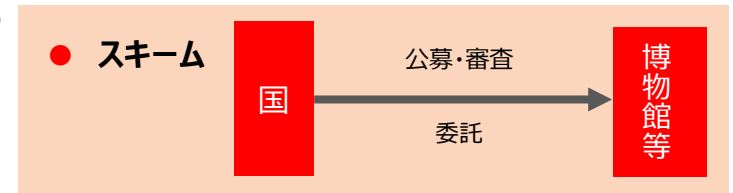


背景・課題

新型コロナウイルス感染症の国際的な広がりにより、博物館における国際交流も甚大な影響を受け、学芸員の交流や国際交流展の開催に大きな支障が生じている。**ウィズコロナ・ポストコロナにおける持続的な国際交流モデルを構築**するため、**海外館と連携**し、学芸員等の共同調査・研究により創造された文化財等の新たな価値を、デジタル技術やレプリカ等を活用した先駆的な鑑賞モデルの構築や、収益力の確保に活かしながらボーダレスに発信することで、海外における博物館と日本文化のプレゼンスを高める。

事業内容（国際交流モデルの構築）

- 海外博物館等との連携による双方の学芸員等による共同調査・研究やデジタルアーカイブやレプリカ等のコンテンツを活用した事業展開し、事業の効果検証を通じて、持続的な国際モデルの構築を図る。
- 件数・単価：3件程度×1,500万円（予定）
- 事業期間：令和3年度～令和6年度
- **進め方（国際交流モデルの構築イメージ）**



芸術家・文化人等による日本文化発信・相互交流事業

令和4年度予算額
(前年度予算額)

59百万円
68百万円)



背景・課題

現代アートは、評価上、国際的な「文脈」に位置づけられることが重要であり、国際展や主要なミュージアムでの個展等はそのための重要な機会となっている。従来、国際展などに招へいされたアーティスト等は、出展にかかる費用の大部分を自身等で負担するケースが多く、若手を中心に国際展への出展の障壁となってきた状況。このため、国際的に著名な国際展やミュージアムに招へいされたアーティストの出展支援を通して、海外での活躍を後押しすることで、アーティスト自身の国際的な評価の向上や我が国発の文化芸術の発信力強化を図る。

また、外国の文化政策を担当する行政官や海外で活躍する外国人芸術家・文化財専門家を招へいし、我が国の文化芸術関係者とのネットワーク強化を図り、海外展や共同展覧会開催のきっかけづくりなど、長期的な日本文化発信の土壌を形成する。

A 日本文化発信事業 52百万円 (60百万円)

公募型(10名)

国際的に著名な国際展（ヴェネチア・ビエンナーレ、ドクメンタ等）やミュージアムに招へいされたアーティスト等の作品制作や出展の支援により、出展が難しかったアーティストや出展規模を縮小せざるをえなかったアーティスト等の海外での活躍を後押しする。日本のアーティストへの国際的な活動の支援を公に打ち出すことにより、国際展等から日本人アーティストの招へいを増加させることも目指す。

ヴェネチア・ビエンナーレ展示風景
(片山真理氏、平成29年度)



B 芸術家・文化人等の相互交流事業 7百万円 (7百万円)

外国の文化政策を担当する行政官及び海外で活躍する外国人芸術家・文化財専門家を招へいし、我が国関係者との意見交換・共同制作・共同研究・研究成果の発表等を実施。国内外の芸術家・文化人のネットワークの強化を図る。

アウトプット（活動目標） 令和4年度末

(公募型)

国際美術展へ招へいされた日本のアーティスト等を10名程度出展・制作支援

アウトカム（成果目標）

出展支援されたアーティスト等の国際的なプレゼンスの向上

インパクト（国民・社会への影響）

我が国の創作活動の活性化・ブランド力の向上

背景・課題

2012年の第4回日中韓文化大臣会合で合意された「東アジア文化都市」(日中韓3か国で選定した都市において文化芸術活動を集中的に実施)により、東アジア地域における文化交流・人的交流を一層発展させ、将来に向かって同地域の連帯感と文化的な共生と創造に資する。

また、東アジアやASEAN諸国との間で文化人、芸術家の交流事業を実施し、相互理解を促進するとともに、アジアからの文化発信を目指す。特にコロナ禍における取組として、オンライン等を通じた新たな交流方式を活用した文化発信を目指すとともに、日本が強みを有する分野での文化協力事業を実施する。

事業内容

① 東アジア文化都市中韓交流の実施

3か国共同事業と位置づけた交流事業において、中韓への我が国の文化芸術団体等の派遣及び中韓の文化芸術団体等の我が国への招へいを実施。さらに青少年の文化交流を推進。

② 東アジア芸術家・文化人等交流・協力の実施

東アジア諸国との文化交流事業・人的交流を通じた人材の育成・東アジアとの文化協力を促進させる事業を実施。

(事業例) 日中韓芸術祭 日中韓文化芸術教育フォーラム ASEAN文化交流・協力事業 (アニメーション・メディアアート・映画分野)

(その他、東アジア文化都市関係行事・会議への旅費等)



横浜市 (2014年)	新潟市 (2015年)	奈良市 (2016年)	京都市 (2017年)	金沢市 (2018年)	豊島区 (2019年)
✓ 期間中100事業実施 ✓ 来場者は約280万人	✓ 期間中295事業実施 ✓ 来場者は約357万人	✓ 期間中112事業実施 ✓ 来場者は約127万人	✓ 期間中129事業実施 ✓ 来場者は約50万人	✓ 期間中172事業実施 ✓ 来場者は約92万人	✓ 期間中397事業実施 ✓ 来場者は約350万人

東アジア文化都市2020-2021 北九州市

※各事業数は自治体独自の事業等も含む

